

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりはあと光善寺（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スペースが広い。	体を動かしたい児童と静かに遊びたい児童の活動スペースを有効に分けることが出来ている。	室内で遊ぶときのルールを児童にもわかりやすいように提示する。
2	絵カードなど、イラストを用いて視覚支援をしていること。	日常動作における行動を絵カードなどを用いて支援している。	日常動作だけでなく、児童同士がトラブルになった際などに気持ちを整理できるようなカードなども今後作っていく。
3	様々な活動を行っている。	活動やお出かけ先は、被らないようにみんなが楽しめるようにしています。	継続して楽しめる活動を行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の共有が弱いところがある。	個別支援計画を作成しているが、担当のスタッフのみ把握しており、他のスタッフが把握できていない状況がある。	毎月の会議で、更新月の児童の個別支援計画の内容を話し合うなどをしてスタッフ間で共有し、支援していく。
2	ブレイルームの使い方が危険な時がある。	広いため、児童が走りすぎてしまって、ぶつかってしまったたり転倒してしまう。	全体に説明するだけでなく、特に怪我をしそうで危ない児童には分かりやすいように落ち着いた環境でルールを伝える。壁面で事業所のルールを掲示して分かりやすく伝えていきます。危険な場合は、職員が身体を張って止める必要がある。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひまわりはあと光善寺（放課後等デイサービス）

公表日 R8年3月26日

利用児童数 R8年3月19日 27名

回収数 14名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1			・十分なスペースがある	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1		3	・女性のスタッフが増えるとより安心する（男性の送迎が多い） ・安心した職員の方の人数です	・送迎は添乗や女性が行けるように組んでいます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1	・子どもがよくわかる環境	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			2	・心地よく過ごせている	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				・その時、興味のあるものや好きなものを見つけて下さり、のびさせている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					・その時の子どもの状況によって対応してくれている
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	4	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	4	・もう少し色々な情報提供がほしい	事業所で行っている研修やマニュアルを保護者様にも知っていただくために、発信していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14				・日々伝えてくれている ・何かあれば保護者からも伝えている	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2		1	・面談、助言などが少し少ない	保護者様との会話や信頼関係をより築いていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	4	4	・今まで機会がないと思うので、わからない	今まで実施できていなかったため、今後は企画していきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		1	・対応してくれている ・病院、サポートしてくれている ・病院など相談したが特に何もなくスルーだったのでわからない	・相談等は、迅速にミーティングをし対応していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14				・丁寧に発信している	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		1	4	・マニュアルはあるだろうが実施しているかわからない	マニュアルを保護者様に知っていただくために、発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2		9	・マニュアルはあるだろうが実施しているかわからない	マニュアルを保護者様に知っていただくために、発信していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		4	・今まで事故などが無かったので速やかな連絡がくるかわからない	事故が起きた際は、速やかに連絡していきます。今後とも事故がないよう気を付けて参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				・本人も安心していると思う	今後とも、安心できるような環境作り、雰囲気気を付けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				・通所とつたえると笑顔になります	今後とも笑顔で通っていただけるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				・日々子どもの状態がかわる中でその時に応じた対応を下さり感謝している	今後とも満足していただけるよう日々の状態に合わせて支援して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひまわりはあと光善寺（放課後等デイサービス）					公表日	R8年 3月 26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・スペースが分けられている	・子どもの人数が多い時は、せまく感じるため、スペースも分けて遊びの内容も工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・配置が出来ている	・見守りが少ないと感じる時もあるため、休憩時間を分けて調整していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3		・情報や構造化が少ないため、視覚支援を増やしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		・職員が参画している人が少ないため、終礼で全員が話やすい場を設けていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		・公表しているが、足りてないと感じるため、SNSをより充実させたいと思います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・回覧を用いて、スタッフ全員で共有していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			・レクリエーションやおでかけを通して自立に向けて支援を行い、地域交流を図っている
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5		・まだ機会がないが、情報共有の準備は進めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		・機会が少なく、必要だと思うため、連携を図れるよう、発信していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6		・交流の機会がないため、企画していきたいと思えます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		・身体拘束を行う児童はいないが、該当する場合においては、指針に沿って対応したいと思えます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりはあと光善寺 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		～ R8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スペースが広い。	体を動かしたい児童と静かに遊びたい児童の活動スペースを有効に分けることが出来ている。	室内で遊ぶときのルールを児童にもわかりやすいように提示する。
2	絵カードなど、イラストを用いて視覚支援をしていること。	日常動作における行動を絵カードなどを用いて支援している。	日常動作だけでなく、児童同士がトラブルになった際などに気持ちを整理できるようなカードなども今後作っていく。
3	様々な活動を行っている。	活動やお出かけ先は、被らないようにみんなが楽しめるようにしています。	継続して楽しめる活動を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間の共有が弱いところがある。	個別支援計画を作成しているが、担当のスタッフのみ把握しており、他のスタッフが把握できていない状況がある。	毎月の会議で、更新月の児童の個別支援計画の内容を話し合うなどをしてスタッフ間で共有し、支援していく。
2	プレイルームの使い方が危険な時がある。	広いため、児童が走りすぎてしまって、ぶつかってしまったり転倒してしまう。	全体に説明するだけでなく、特に怪我をしそうで危ない児童には分かりやすいように落ち着いた環境でルールを伝える。壁面で事業所のルールを掲示して分かりやすく伝えていきます。危険な場合は、職員が身体を張って止める必要がある。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひまわりはあと光善寺 (児童発達支援)

公表日 R8年 3月 26日

利用児童数 R8年 3月 14日 13名 回収数 7名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			1	もう少し広いのが理想的 外での活動があるので助かります	配置などを変えて広くとれるようにして いきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7				アットホーム 色々なイベントがありとても楽しそう	今後とも様々なレクリエーションが できるよう、職員で話し合っ て参ります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	6				体を動かす事や料理を作ったり、 良い刺激になっている	今後とも様々な体験を提供 できるよう、工夫していき たいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っている と思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析され た上で、児童発達支援計画 (個別支援計画)が作成され ていると思いますか。	7					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき 支援」の「本人支援」、「家 族支援」、「移行支援」で示 す支援内容からこどもの支 援に必要な項目が適切に選 択され、その上で、具体的 な支援内容が設定されてい ると思いますか。	6			1	短期、長期目標ともに適切 に設定されている	今後とも支援計画の作成時 には、ニーズに応じて適切 な目標を立てられるよう、 考えていきたいと思いま す。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	7				毎月様々なアイデアで楽し ませようと工夫されている	今後とも様々なレクリエー ションを行っていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもと活 動する機会がありますか。	3	1		3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧 な説明がありましたか。	7					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の 説明がなされましたか。	5	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる 研修会や情報提供の機会等 が行われていますか。	2		1	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こ どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができてい ると思いますか。	7					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支 援が行われていますか。	4			3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされている と思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、 家族への支援がされている か。また、きょうだい向け のイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機 会が設けられるなど、き ょうだいへの支援がされて いますか。			2	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				楽しい様子 嫌だとは一言も言わない	楽しんでいただけて嬉しいです。今後も様々な活動を用意していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7				友だちも出来たようで嬉しい	ありがとうございます。今後もお友達と自然と仲良くなれるよう支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				これからもよろしく願い致します。	今後ともよろしく願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひまわりはあと光善寺（児童発達支援）				公表日	R8年 3月 26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・スペースは分けられている	・子どもの人数が多い時は、せまく感じるため、スペースも分けて遊びの内容も工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	・職員が多い場合は、出来ている	・見守りが少ないと感じる時もあるため、休憩時間を分けて調整していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	・イラスト等が沢山貼られている ・日常動作における行動を絵カードを使って構造化している	・情報や構造化をより充実させるため、視覚支援を増やしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		・勝手に静養室に入られてしまう事があるため、スタッフ同士で声をかけあっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	2		・振り返り、目標を多くの職員が参画できていないため、終礼などで全ての職員が話しやすい場を設けていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・回覧を用いて、スタッフ間で共有していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・お出かけに行った際は地域の子ども達と関わる場面が多々ある	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3			